

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について
本大会は、2022年日本陸上競技連盟規則と本大会申し合わせ事項により実施する。
2. プログラムの訂正は、各府県まとめて9:00までに本部まで届けること。ただし選手の変更は認めない。
3. 練習について
練習は、補助競技場または雨天練習場を使用する。ただし、投てき練習は禁止する。
競技場での練習は、7:30~9:00の間で行うことができる。
4. 招集について
 - (1) 招集所は、第4コーナー外側に設ける。
 - (2) 招集時間について
トラック種目 競技開始時刻の30分前開始、20分前完了
フィールド種目 競技開始時刻の40分前開始、30分前完了
 - (3) リレー種目について
リレーのオーダー用紙は、招集完了時刻1時間前までに競技者係に提出すること。
オーダー用紙は招集所に用意しているものを使用すること。
 - (4) 2種目を同時刻に兼ねて出場する選手は、同時出場届を提出すること。
 - (5) 事前に棄権の種目がある場合は招集開始時刻までに招集所に連絡すること。
5. 競技進行について
 - (1) 競技全般について
 - ① 競技役員・補助員及び当該種目出場者以外は競技エリアに立ち入ることができない。また、競技者の本部前の通行を厳禁する。
 - ② スパイクピンは11本以内とし、9mm以下で先端のとがっていない物を使用すること。ただし、走高跳・やり投げについては12mm以下とする。
 - ③ ナンバーカードはユニフォームの胸部と背部につけること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は胸部または背部だけでよい。
 - (2) トラック種目について
 - ① すべてタイムレースとする。
 - ② 男子5000mおよび女子3000mはグループスタートで行う。
 - (3) フィールド競技について
 - ① トップ8の競技者による4回目以降をおこなう。
 - ② 走高跳・棒高跳のバーの上げ方については、跳躍審判員の指示によること。
 - ③ 三段跳の踏切板は男子11m・女子8mとする。
 - ③ 投てき競技の各種目については、ペグを用いて最高記録のみの計測とする。
6. 競技用具について
 - (1) 棒高跳のポール及びやり以外の競技用具は、競技場備え付けのものを使用すること。
 - (2) やりの検査は、競技開始の80分前より60分前までに、第2ゲート横用器具庫で行う。
7. 表彰について
 - (1) 各種目3位までの入賞者は、正面玄関エントランスに各自、賞状を取りに来ること。
8. その他
 - (1) 競技場の開門は7時30分とする。
 - (2) 記録は、アスリートランキングに掲載する。
 - (3) 場所取り、テントの設営、横断幕・のぼり等の設置について
 - ① メインスタンド
 - ・メインスタンドは、テント・横断幕等一切設置してはいけない。
 - ・サイドスタンド（メインスタンドの両サイド）は、中段より上にテント・横断幕・のぼりなどを設置することができる。
 - ② サイド芝生席
 - ・横断幕は手前フェンス及び後方フェンスへ設置してもよいが、のぼりは後方の手すりのみとする。また、テントは設置してもよい。
 - ③ バックスタンド
 - ・バックスタンドは有観客席用のエリアとなっている場所以外のところにテントおよび横断幕をしてもよいが、中段より上の手すりに設置すること。ただし、通路をふさぐようなことのないよう十分注意すること。
 - ・のぼりは、最上段フェンスのみ設置してもよい。
 - (4) 競技中における事故・負傷については応急措置のみを行う。
 - (5) 各学校の控え場所及びスタンドの清掃は、監督・顧問・キャプテンの指示により確実にを行い、各学校で出たごみは、確実に持ち帰ること。
 - (6) 競技場内に携帯電話等の通信機器を持ち込まないこと。
 - (7) 貴重品・荷物類は各自で管理し、盗難等十分注意すること。
 - (8) 大会プログラムは配布しません。各校で和歌山陸協HPより印刷してください。